

令和3年度決算

普通会計決算認定特別委員会説明資料

未来創生文化部

目 次

| | | |
|-----|------------------------|----|
| I | 令和3年度未来創生文化部主要施策の成果の概要 | 1 |
| II | 主要事業の内容及び成果 | 4 |
| III | 歳入歳出決算額 | 16 |
| 1 | 一般会計決算額 | 16 |
| (1) | 歳入決算額 | 16 |
| (2) | 歳出決算額 | 17 |
| 2 | 特別会計決算額 | 18 |
| (1) | 歳入決算額 | 18 |
| (2) | 歳出決算額 | 18 |

I 令和3年度 未来創生文化部主要施策の成果の概要

1 県民との協働事業の推進

(未来創生政策課)

県民の参加と協働による地域づくりを実現するため、NPO、ボランティアなど、県民の自主的・自立的な社会貢献活動を促進する各種支援事業を行い、県民との協働事業を推進した。

2 多様な主体の活躍推進

(ダイバーシティ推進課)

社会を構成する多様な人々が持てる個性や能力を存分に発揮し、いきいきと活躍する「ダイバーシティ社会」の実現をめざし、「ユニバーサルカフェ」など地域の交流や支え合いを支援するとともに、シルバー大学校・大学院による学びの場の創出や、地域の担い手となるアクティブシニアの活躍支援、さらには障がい者スポーツ・文化芸術活動の振興を図った。

3 国際交流と多文化共生の推進

(ダイバーシティ推進課)

グローバル人材の育成や地域の国際化を図るため、ドイツ・ニーダーザクセン州をはじめとする友好交流提携州・省との相互交流を実施するとともに、外国人が住みやすい多文化共生のまちづくりを推進した。

4 人権を尊重する社会づくりの推進

(男女参画・人権課)

「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」に基づき、県民の人権意識の普及高揚を図り、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決に向け、各種啓発事業を実施するとともに、市町村や民間団体との連携・協力を図り、人権啓発を効率的・効果的に進めた。

また、本県における人権教育・啓発の推進拠点である人権教育啓発推進センター「あいぼーと徳島」の適正な運営を図った。

5 男女共同参画社会の実現

(男女参画・人権課)

「徳島県男女共同参画基本計画」に基づき、男女共同参画の総合的な推進拠点である「ときわプラザ（男女共同参画総合支援センター）」において、講演会やイベント等の事業を実施するほか、女性活躍の機運醸成と意識啓発を推進した。

また、「配偶者暴力防止及び被害者保護に関する徳島県基本計画」に基づき、普及啓発、被害者に配慮した相談・保護体制の充実、自立支援に取り組むとともに、性暴力被害者支援センター「よりそいの樹とくしま」を運営し、女性に対するあらゆる暴力防止に関する対策の推進を図った。

6 次世代育成支援対策の推進

(次世代育成・青少年課)

「第2期徳島はぐくみプラン（後期計画）」に基づき、少子化対策をより一層強化し、「希望出生率1.8」をかなえるため、結婚、妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援を実施するとともに、「子ども・子育て支援新制度」の円滑な実施に向け、市町村との緊密な連携の下、待機児童解消に向けた保育士確保、認定こども園・保育所の整備や、「新・放課後子ども総合プラン」の着実な推進など、地域の実情や子育て家庭の多様なニーズに応じた子育て環境の向上に努めた。

7 青少年対策の推進

(次世代育成・青少年課)

「とくしま青少年プラン」に基づき、全ての青少年が自立・活躍できる「とくしま」の実現に向け、家庭・学校・地域との連携を一層図り、社会生活に困難を抱える青少年の連携支援、非行防止に向けた環境づくり等、県民総ぐるみによる青少年育成を推進した。

また、青少年をはじめ、県民の主体的活動と未来を切り拓く交流拠点として、新たな青少年センターのJR徳島駅前アミコビルへの機能移転に向けた取組みを推進した。

8 子どもの未来に向けた支援強化

(次世代育成・青少年課)

「徳島こども未来応援プラン」に基づき、深刻化する児童虐待に適切に対応するため、こども女性相談センターや市町村の相談支援体制を強化するとともに、里親養育の支援や児童養護施設等の多機能化を推進した。
また、ひとり親家庭の自立に向け、就業・生活・経済的支援等、幅広い施策を推進した。

9 文化の振興

(文化・未来創造課)

「国際スポーツ大会」や「2025年大阪・関西万博」を絶好の機会と捉え、「あわ文化4大モチーフ」や「あわ三大音楽」を中心に、「あわ文化」の魅力に更に磨きをかけ、国内外に発信するとともに、二度の国民文化祭の成果を継承・発展させるため、県民が主役となる文化活動を積極的に展開し、次世代・後継者育成や地域活力の向上を図った。

また、引き続き本県の文化活動の拠点である、「あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)」、「文学書道館」及び「阿波十郎兵衛屋敷」の魅力ある管理運営を行った。

10 新ホール整備の推進

(文化・未来創造課)

「徳島県の文化芸術の力」を結集し、県民の文化活動の更なる促進や優れた文化芸術の鑑賞機会の提供、さらにはにぎわいの創出を図るため、豊かで活力ある地域社会の実現に向けた中核施設として、県都のランドマークとなる「新ホール」の整備を推進した。

11 文化財の保存・活用の推進

(文化資源活用課)

文化財の適切な保存とともに、地域の新たな観光資源として、その将来的な継承や利活用を通じて徳島の魅力発信を図るため、地域の特色を示す様々な文化財の活用や環境整備を実施した。

また、「四国遍路」及び「鳴門の渦潮」の世界遺産登録に向けた取組みを推進するとともに、「板東俘虜収容所関係資料」のユネスコ「世界の記憶」登録を目指した施策展開を図った。

12 「文化の森総合公園」の新展開

(文化の森振興センター)

郷土徳島の自然と歴史・文化の特色を前面に打ち出した博物館新常設展がグランドオープンし、複合施設としての特色を活かした魅力ある企画展やイベントを実施するとともに、資料のデジタル化を推進し、手軽に閲覧利用できる環境の充実を図った。

また、本県の古環境、古生物の実態解明と、それによる地域活性化を促進するため、日本最古級恐竜化石含有層の発掘調査と魅力発信事業を実施した。

13 生涯スポーツの振興

(スポーツ振興課)

県民の誰もが、生涯にわたり、それぞれのライフステージに応じてスポーツに親しむことができる「生涯スポーツ社会」を実現するため、総合型地域スポーツクラブ等を活用したスポーツに参加しやすい環境づくりを推進した。

14 競技力の飛躍的な向上

(スポーツ振興課)

「令和4年度四国インターハイ」開催の機会を捉え、「国民体育大会天皇杯30位台」の実現に向けた競技力の更なる強化を図るため、「徳島県国体飛躍対策本部」を中心に、ハード・ソフト両面からの抜本的対策を戦略的かつ重点的に展開した。

15 国際スポーツ大会レガシーの創出

(スポーツ振興課)

国際スポーツ大会を通じ、県内競技者の競技力向上、県民の夢や希望、感動の創出、国際交流の促進などの「スポーツレガシー」の創出を図るため、「東京2020オリンピック・パラリンピック」代表チームの事前キャンプを万全の態勢で受け入れるとともに、「新しい生活様式」を踏まえた県民と選手との交流を行った。また、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催に向け、来県者へのおもてなしの充実や競技運営態勢の整備等、準備を行った。

16 スポーツツーリズムの推進

(スポーツ振興課)

国際スポーツ大会を契機とする、スポーツ施設の機能向上や様々なノウハウの蓄積といったレガシーを活用し、「徳島県スポーツコミッション」を核に、「新しい生活様式」に対応したスポーツ大会・合宿の誘致により、競技力向上のみならず、経済効果にもつながる「スポーツツーリズム」を推進した。

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|-------------|--------------------------|---|
| 県民との協働事業の推進 | 地域活力再生ボランティア活動促進事業 | 地域活力の再生に向け、県民のボランティア活動を促進するため、「とくしまボランティア推進センター」を拠点として、時代の変化を見据えた、地域の抱える課題に対応した各種支援事業を実施した。 (19, 159) |
| | とくしまパートナーシップ推進事業 | NPO、ボランティア、地域づくりなどの県民の自主的・自立的な社会貢献活動を促進するため、「とくしま県民活動プラザ」を拠点として、活動・交流の場の提供など各種支援事業を実施した。 (42, 663) |
| | とくしま共助支援プロジェクト | 共助社会の実現のため、シンポジウムの開催により県民の機運醸成を図るとともに、学校等への出前授業や各種講座の実施により、NPOやボランティアの活動の活性化と人材育成を推進した。 (2, 471) |
| | 吉野川交流推進費 | 川を生かした個性的で魅力ある地域づくり等の推進を図るため、吉野川を取り巻く多様な連携・交流の推進や県内外に向けた情報発信等を行う「吉野川交流推進会議」の運営を支援した。 (240) |
| 多様な主体の活躍推進 | ダイバーシティとくしま実装事業 | 本県が目指すダイバーシティ社会の理念と方向性を広く県民に伝えるため、フォーラム等の開催により、「ダイバーシティ」に対する県民の機運醸成を図るとともに、多様な主体が共生し、交流し、活躍する「ダイバーシティとくしま」の実現に向けた取組みを展開した。 (3, 399) |
| | 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 | 高齢社会を明るく活力のある長寿社会とするため、シルバー大学校等を開講したほか、徳島県健康福祉祭の開催、さらには、地域活動や社会貢献活動の担い手となって活躍する「生きがいづくり推進員」の活動の支援を行った。 (128, 042) |
| | ユニバーサルカフェ整備推進事業 | 地域における多様な生活・福祉ニーズに幅広く対応するため、子どもから高齢者、また障がいの有無や国籍を超えて、地域に住む全ての人々が気軽に利用できる多世代交流・多機能型交流拠点である「ユニバーサルカフェ」の整備を促進した。 (1, 400) |
| | 東京2020パラリンピック・芸術文化活動応援事業 | 世界最大のスポーツ・文化の祭典である東京2020パラリンピックの機運醸成と、障がいに対する県民理解の一層の深化を図るため、聖火フェスティバルを県内で開催するとともに、障がい者交流プラザに開設した障がい者アーティストによる絵画等芸術作品の常設展示場を本格展開した。 (9, 156) |

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|--------------------|---------------------|---|
| 多様な主体の活躍推進 (続き) | 障がい者スポーツ交流支援事業 | スポーツを通じた共生社会の実現を目的に、障がい者スポーツの裾野を拓げるための取組みや、障がい者が身近な場所でスポーツを実施できる環境整備等を推進した。 (23, 223) |
| | 次世代パラアスリート発掘・育成事業 | パラリンピック等国際大会への本県からの出場選手輩出に向け、競技力向上を図るとともに、次世代を担うパラアスリートの発掘・育成に向け、障がい者スポーツ団体の育成強化を図るとともに、幼少期から身近な地域で障がい者スポーツに親しむ機会を提供した。 (5, 639) |
| | とくしま共生アートプロジェクト推進事業 | 障がい者による芸術文化活動の一層の振興を図るため、「障がい者芸術・文化活動支援センター」と連携して障がい者アーティストの創作活動や作品発表を支援し、芸術文化活動を通じ、障がいへの理解と障がいのある人となない人との交流を促進した。 (17, 000) |
| | ユニバーサルデザイン啓発事業 | 障がいの有無、性別、年齢等にかかわらず、すべての県民がお互いに人格や個性を尊重し、支え合いながら暮らすことのできる共生社会を実現するため、ユニバーサルデザインに係る優良な取組みの表彰を行うなど、「ユニバーサルデザインによるまちづくり」を推進した。 (82) |
| 国際交流と多文化共生の推進 | 国際人材育成・交流事業 | グローバル人材の育成や地域の国際化を推進するため、ドイツ・ニーダーザクセン州等との交流を実施するとともに、関係機関とも連携し、諸外国との交流を促進した。 (556) |
| | 外国人にやさしい徳島づくり推進事業 | 県内在住の外国人が住みやすい多文化共生のまちづくりを推進するため、とくしま外国人支援ボランティアの登録を促進するとともに、防災への意識を高めるため、「大規模災害時外国人対応想定訓練」や災害発生時に備えた支援のネットワークづくり等を実施した。 (12, 560) |
| | とくしま国際戦略センター推進事業 | 外国人の受入れ体制を促進するため、「とくしま国際戦略センター」を設置し、多言語相談員（英・中・ベトナム）や4者間電話通訳システムによる外国人の生活相談を行う「多言語相談窓口」を運営するとともに、外国人の多様なニーズに対応する情報発信拠点として、外国人支援を実施した。 (20, 000) |
| | 湖南省友好交流10周年記念事業 | 友好交流10周年を契機として、両県省の交流を一層促進し、新たなステージにつなげていくため、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し、オンラインによる、両県省の学生を中心とした「eスポーツ交流」及び、湖南省の方々へ本県の魅力を発信する「オンライン観光プロモーション」を実施した。 (3, 031) |

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|-----------------|----------------------|--|
| 人権を尊重する社会づくりの推進 | 人権教育・啓発総合調整事業 | 「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」に基づき、同和問題をはじめ広く人権全般についての各種啓発事業を実施した。 (10,683) |
| | 人権教育啓発推進センター運営費 | 県の人権教育啓発推進の拠点である人権教育啓発推進センター「あいぽーと徳島」を運営するとともに、人権啓発イベントや人権講演会等、各種事業を実施した。 (79,707) |
| | みんなが主役の人権啓発推進事業 | 人権に関わるNPOなどの民間団体の育成を図るため、団体が実施する人権啓発推進に関する創意工夫のある取組みを募集し、事業委託の上、実施した。 (2,165) |
| | 若者発！人権啓発映像コンテンツ発信事業 | 現在の社会情勢を反映した喫緊の人権課題への啓発を推進するため、若者を対象に人権啓発映像コンテンツを募集し、県民に発信した。 (353) |
| | とくしま共に生きるフェスタ開催事業 | 基本的人権の尊重とその擁護について正しい理解を深める機会を広く県民に提供するため、多様な人権に関する各種啓発事業を一体的・総合的に展開した。 (5,689) |
| | 人権侵害ネットモニタリング強化事業 | インターネット上の差別書き込みの抑止・削減や人権意識の高揚を図るため、大学生等を中心にとくしま人権ネットモニターを募集し、連携してモニタリングを実施した。 (274) |
| | 隣保館運営費補助金 | 隣保館が、地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となり、各種相談事業や交流事業等を総合的に実施するため、その運営費を助成した。 (269,159) |
| | 隣保館整備事業費補助金 | 市町が設置する隣保館について、老朽化等により大規模改修等が必要な場合に、その整備費用を助成した。 (4,454) |
| | いきいき隣保館支援事業 | 隣保館の相談機能の強化と交流の拠点としての機能の充実を図るため、県隣保館連絡協議会に委託して、隣保館職員のレベルアップ研修及び専門相談員の派遣事業を実施した。 (2,031) |
| 男女共同参画社会の実現 | 女性・若者が主役へ！地域参画人財育成事業 | 政策・方針決定過程への女性・若者の更なる参画拡大及び女性活躍推進のため、「公共政策」と「女性DX人材育成」をテーマに人材発掘及び育成機能を備えた内容の異なるプログラムを実施した。 (8,352) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|---------------------|-------------------------|--|
| 男女共同参画社会の実現 (続き) | 男女共同参画総合支援センターデジタル化実装事業 | 女性活躍や男女共同参画を加速化するため、新たな拠点「ときわプラザ(男女共同参画総合支援センター)」において、ホールへのデジタル映像機器の導入やオンライン講座用機器の整備等を行い、支援機能の充実を図った。 (5,899) |
| | 男女共同参画総合支援センター運営事業 | 県民の男女共同参画の活動を支え、交流や情報の収集・提供を活性化するため、「ときわプラザ(男女共同参画総合支援センター)」の運営を行った。 (46,446) |
| | フレアキャンパス開講事業 | 男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発や人材育成を行うため、「ときわプラザ(男女共同参画総合支援センター)」において、各種講座等を開催した。 (1,912) |
| | コロナに負けない！女性つながりサポート事業 | 新型コロナウイルスの感染拡大により孤独・孤立で不安を抱える女性が、社会との絆・つながりを回復することができるよう、民間団体の知見や能力を活用したきめ細やかな支援を実施した。 (13,350) |
| | 若年層からの「ストップ！DV」推進事業 | 重大な人権侵害であるDV根絶のため「DVの被害者も加害者も発生させない」という視点から、デートDV防止セミナーの開催等、若年層からのDV予防教育・啓発を実施した。 (1,242) |
| | DV被害者自立支援事業 | 配偶者等からの暴力防止と被害者の自立支援の充実・強化を図るため、関係機関との連携強化や民間団体の活動支援などを実施した。 (2,128) |
| | DV相談ICT化推進事業 | 婦人相談所や民間団体におけるDV相談支援体制の強化を図るため、タブレット端末等の機器を整備し、ICTを活用した相談対応を実施した。 (692) |
| | 性暴力被害者支援センター運営費 | 性暴力被害者への支援の充実を図るため、女性相談員による相談受付や関係機関と連携した産婦人科医療、法律相談などの支援を実施した。 (5,017) |
| 次世代育成支援対策の推進 | とくしま在宅育児応援クーポン事業 | 保育所等を利用せず、在宅で0歳から2歳までの乳幼児を育児している世帯の負担感を軽減するため、様々な子育て支援サービスの利用料の支払いに使用できるクーポンを交付する市町に対して、補助を行った。 (9,791) |
| | チーム育児推進！事業 | 子育ての孤立化を防ぎ、子育て家庭の負担感を軽減するため、夫婦の協働を中心に、周囲に頼りながら楽しく育児を行う「チーム育児」を推進した。 (4,927) |

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|----------------------|---------------------|--|
| 次世代育成支援対策の推進 (続き) | とくしま結婚支援プロジェクト加速化事業 | 社会全体で独身者の結婚の希望が叶う環境を整備するため、「とくしまマリッジサポートセンター(マリッサとくしま)」を拠点として、マッチング(お見合い)、イベント、セミナー及び個別相談会を実施するなど、市町村、企業等関係機関と連携しながら、独身者の出逢いと結婚を後押しする結婚支援を行った。(29,270) |
| | オンライン婚活基盤整備事業 | アフターコロナ時代の新たな日常に対応し、結婚を希望する一人一人のライフプランに応じた結婚支援の拡充を図るため、マリッサとくしまにおける登録者情報の自宅閲覧機能の導入など、婚活が気軽にできる環境整備を行った。(6,710) |
| | 地域少子化対策強化事業 | 本県の少子化対策をより一層強化するため、市町村が実施する結婚、妊娠・出産、子育てまでの切れ目ない取組みを支援した。(1,134) |
| | 子育て総合支援センター事業 | 地域の子育て機能の総合力を高め、次世代育成支援を推進するため、子育て支援団体のネットワーク形成、子育て支援関係者に対する情報提供、専門的な相談への対応等の機能を持つ「子育て総合支援センターみらい」を運営した。(1,445) |
| | 徳島県次世代はぐくみ未来創造基金積立金 | 徳島県の未来を創造する次世代の人材を育み、人口減少を克服するため、「徳島県次世代はぐくみ未来創造基金」を活用し、結婚、妊娠・出産及び子育てに対する支援、その他の次世代育成並びに地方創生に資する事業を実施した。(300,024) |
| | 放課後子ども総合プラン推進事業 | 「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うため、放課後児童支援員等の質の向上や放課後児童クラブの受け皿の確保を推進した。(3,612) |
| | 放課後児童対策事業費 | 就労等により、昼間家庭に保護者がいない児童に対し、適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るため、放課後児童クラブの運営費支援等を行った。(452,033) |
| | 放課後児童クラブ利用料軽減事業 | 共働き家庭等の「小1の壁」を打破し、保護者負担の軽減を推進するため、第3子以降、ひとり親世帯等の児童に係る放課後児童クラブの利用料無料化に取り組む市町村に対し補助を行った。(17,370) |
| | 保育人材確保等推進事業 | 子ども・子育て支援新制度の円滑な実施により、子どもを生み育てやすい徳島を実現するため、「保育士・保育所支援センター」のマッチング体制強化による保育人材確保や保育士等の資質向上に向けた取組みを総合的に推進した。(27,830) |

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|----------------------|----------------------|--|
| 次世代育成支援対策の推進 (続き) | 未来の保育士定着促進事業 | 指定保育士養成施設の学生を、保育所等においてアルバイトとして雇用し、現場体験から県内保育所等への就職に繋がるよう支援した。 (1, 942) |
| | 保育士試験対策講座実施事業 | 保育士試験の合格率の底上げを図り、県内保育所等への就職を促進するため、保育士資格取得を目指す方を対象に試験対策講座を実施した。 (2, 756) |
| | 保育士修学資金等貸付事業 | 保育人材の確保を図るため、保育士資格取得のための修学資金や潜在保育士の再就職時の就職準備金等について貸付を実施した。 (6, 053) |
| | 多様な子育て支援推進交付金事業 | 「第2期徳島はぐくみプラン(後期計画)」に基づき、地域における子育て環境の向上を図るため、市町村が策定した子ども・子育て支援事業計画に沿って実施する地域子ども・子育て支援事業等に対し補助を行った。 (474, 826) |
| | とくしま子育てはぐくみ応援推進交付金事業 | 持続可能な子育て環境の向上を図るため、「第2期徳島はぐくみプラン(後期計画)」の基本方針に基づき、子育て支援ニーズや地域の実情に応じた県独自の交付金で積極的に支援することにより、市町村における機動的かつ戦略的な子育て支援策の推進を図った。 (14, 395) |
| | 阿波っ子はぐくみ保育料助成事業 | 多子世帯における経済的負担を軽減するため、保育所等における3歳未満の第3子以降の保育料無償化に取り組む市町へ補助を行った。 (81, 405) |
| | とくしま保育対策総合支援補助金事業 | 「第2期徳島はぐくみプラン(後期計画)」に基づき、子どもを安心して育てることができる環境整備を図るため、アクティブシニア等の多様な人材の活用等を行う事業に対し支援を行った。 (36, 851) |
| | 認定こども園整備事業費補助金 | 教育と保育の一体的提供、待機児童の解消、幼児教育の環境改善等を図るため、認定こども園の施設整備に要する経費を市町村が補助する事業及び社会福祉法人が認定こども園の環境整備を行う事業に対し補助を行った。 (153, 860) |
| 青少年対策の推進 | 子ども・若者育成支援強化推進事業 | 子ども・若者への支援を強化するため、「徳島県子ども・若者総合相談センター」を新設し、電話、面接による相談事業を実施するとともに、支援者の養成をはじめ、フューチャーセッションを通じて地域社会の持続的発展の実現に貢献する人材の育成を図った。 (3, 979) |

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|------------------|-----------------------|--|
| 青少年対策の推進 (続き) | 青少年センター管理運営事業 | 青少年の健全な育成を図るとともに幅広い層の県民に対するサービスを提供するため、「青少年センター」の適正な維持管理・運営を行った。(88, 936) |
| | 青少年センター機能移転事業 | 青少年をはじめ県民の主体的活動と未来を切り拓く交流拠点となる新たな青少年センターの移転に向けた取組みを推進するとともに、旧センターの解体を開始した。(315, 257) |
| 子どもの未来に向けた支援強化 | 退所児童自立支援資金貸付事業 | 児童の自立促進を図るため、児童養護施設等の退所児童等に対し、住居費等の貸付を行った。(1, 557) |
| | 虐待関係職員専門性強化事業 | 児童虐待の発生予防から迅速・的確な対応、アフターケアまで、切れ目のない支援を図るため、児童相談所への弁護士の配置及び児童福祉司等の専門性を強化する研修を実施した。(2, 270) |
| | “STOP児童虐待”児童相談所体制強化事業 | 児童虐待に迅速、適切に対応し、児童の安全の確保、児童虐待の防止を図るため、児童相談所の相談機能等の強化を行った。(1, 210) |
| | こども未来応援プラン推進事業 | 徳島県社会的養育推進計画「徳島こども未来応援プラン」に基づき、フォスタリング体制構築や児童養護施設等の小規模化かつ地域分散化のための施設整備等を支援した。(67, 786) |
| | 社会的養護自立支援事業 | 措置延長を終了する児童養護施設等の入所児童の自立促進を図るため、相談体制を整え、原則22歳の年度末まで引き続き居住、生活費の支援を行った。(5, 021) |
| | ひとり親家庭自立支援給付事業 | ひとり親家庭の自立を支援するため、能力開発に必要な経費の一部や資格取得期間中の生活費の一部を支給した。(21, 650) |
| | ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業 | 高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親を支援するため、入学準備金及び就職準備金の貸付を行うとともに、自立に向け意欲的に取り組むひとり親家庭の親を支援するため、住宅支援資金の貸付を行った。(1, 306) |
| | ひとり親家庭等医療費助成事業 | ひとり親家庭の親及びその扶養する児童並びに父母のない児童の保健の向上及び福祉の増進を図るため、入院費及び子どもの通院費の助成を行った。(27, 337) |
| | ひとり親家庭等かがやく未来応援事業 | ひとり親家庭等の経済的自立と生活の安定を図るため、ひとり親家庭等が抱える多くの複雑な問題に対し、就業及び生活面において幅広く総合的に支援した。(22, 960) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|------------------------|---------------------------|--|
| 子どもの未来に向けた支援強化 (続き) | 子どもの居場所づくり推進事業 | 子どもたちを地域で見守り、交流できる場を提供する子ども食堂、学習支援、体験活動等の充実を図るため、コーディネーターを配置し、「子どもの居場所」づくりの取組みを支援した。 (11,400) |
| | 未収金対策強化事業 | 母子父子寡婦福祉資金貸付金の適正な管理と、未収金削減のため、サービサー(債権回収会社)に居所調査や督促業務の一部を委託し、債権回収の強化を図った。 (393) |
| | 児童保護措置費 | 児童福祉法に基づき、児童の心身の安全及び適切な養育環境を確保し、心身の健やかな発達及び社会的な自立を促進するため、児童福祉施設への措置に要する経費の一部を負担した。 (4,441,170) |
| | 児童扶養手当法施行給付費 | 児童扶養手当法に基づき、父又は母と生計を共にしていない児童等が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、年間所得が基準限度額以下の世帯で、18歳(障がいのある児童の場合は20歳)に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者を対象として手当を支給した。 (734,765) |
| | 母子父子寡婦福祉資金貸付金 | 母子家庭等の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、併せて扶養している児童の福祉を増進するための資金の貸付を行った。 (141,474) |
| 文化の振興 | 文化資源をつなぐ「あわ文化」とくしま魅力発見事業 | 国内外から阿波藍・藍文化に注目が集まっている機運を逃さず、阿波藍をはじめとする「あわ文化」のファンを創出するため、引き続き藍の魅力を発信するとともに、阿波藍を源流として広がる多様な文化資源をつなげたあわ文化の魅力発信を行った。 (1,080) |
| | 徳島の「阿波人形浄瑠璃」国内外派遣事業 | 徳島が誇る「阿波人形浄瑠璃」の魅力を広く発信するため、在日大使館に、県内で活躍する人形座を派遣した。 また、在外日本大使館での記念事業に合わせた阿波人形浄瑠璃派遣公演をオンラインに切り替え、映像コンテンツの配信により実施した。 (3,111) |
| | 徳島県民文化祭開催事業 | 本県の文化芸術の裾野拡大や地域活性化を推進するため、県民主役の「徳島県民文化祭」を開催し、発表機会や鑑賞機会を創出した。 (10,600) |
| | 「吉野川・あわ文化」を巡るとくしま文化観光推進事業 | 各文化施設やフィールドを巡り、「吉野川・あわ文化」を体験・体感することで深く知る、徳島ならではの「文化観光」を確立するため、デジタル技術による展示設備・コンテンツの整備、文化観光来訪者の移動に係る利便性向上を図った。 (55,543) |

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|---------------|-------------------------|--|
| 文化の振興 (続き) | 「あわ文化」とくしま未来創造事業 | 「あわ文化」の継承・発展はもとより、地域活力の向上や未来に誇る「あわ文化」の創造を図るため、県民が主役となって活躍する文化活動を「WITHコロナ時代」や「アフターコロナ時代」を見据えて支援し、「あわ文化」の新たな価値や可能性の創造、発信力の強化につなげた。(22, 727) |
| | とくしま「eスポーツ」推進加速化事業 | 「eスポーツ」を活用し、新たな「にぎわいの創出」や「ダイバーシティ社会」の理念の浸透を図るため、オンライン方式を併用したイベント開催や、民間団体、教育機関等への支援を行った。(6, 367) |
| | 文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業 | WITHコロナ、アフターコロナの時代においても、来場者が安心して文化施設を利用できる環境を整備するため、所管施設において感染症対策に必要な備品の確保や改修を行った。(2, 006) |
| | 阿波十郎兵衛屋敷管理運営費 | 指定管理者制度により、県立阿波十郎兵衛屋敷の管理運営を行うとともに、施設の安全性を高めるための修繕を行った。(34, 500) |
| | 郷土文化会館運営費 | 指定管理者制度により、あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）の管理運営を行うとともに、施設の安全性や機能性を高めるための修繕を行った。(188, 613) |
| | 文学書道館運営費 | 指定管理者制度により、県立文学書道館の管理運営を行うとともに、資料の収集・整理・保存を行った。(176, 451) |
| 新ホール整備の推進 | 新ホール整備事業費 | <p>縣市協調による新ホールの早期整備を図るため、令和3年3月に策定した「縣市協調新ホール整備基本計画」に基づき、埋蔵文化財調査を行うとともに、令和3年5月から設計・施工一括発注の公募型プロポーザルを実施し、一次審査及び二次審査を経て、優先交渉権者を選定した。</p> <p>確実な設計・施工に向けて、県と優先交渉権者との間で、「基本協定」及び「基本設計契約」を締結し、基本設計業務を行った。</p> <p>また、徳島文化芸術ホール（仮称）管理運営計画検討委員会を立ち上げ、新ホールの管理運営の羅針盤となる「管理運営計画」の令和4年度策定に向けて着手した。(195, 305)</p> |
| 文化財の保存・活用の推進 | 魅力実感！ふるさと徳島の文化財重点保存活用事業 | 文化財の保存・活用を図るため、重要伝統的建造物群保存地区の整備や国指定文化財の防火設備の設置を推進するとともに、文化財に関する専門的知識・技術を有する人材を登録し、派遣する制度を構築した。(3, 124) |

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|----------------------|-------------------------------|---|
| 文化財の保存・活用の推進 (続き) | 温故知新！「いにしえ」を訪ねて「ミライ」を創るプロジェクト | 「埋蔵文化財」の保存と活用を図るため、レキシルとくしま（埋蔵文化財総合センター）において、埋蔵文化財速報展を開催するとともに、地域において、学校文化財展等を開催した。 また、レキシルとくしまにおいて、所蔵する「重要文化財」の保存修理を行うとともに、特別収蔵庫の消火設備を設置した。（42,498） |
| | 埋蔵文化財発掘調査・出土品整理事業 | 文化財保護に資するため、吉野川河川改修事業、四国横断自動車道関連事業等に伴う埋蔵文化財発掘調査等を実施した。（256,542） |
| | 「四国遍路」を世界遺産に！推進プロジェクト | 「四国遍路」の世界文化遺産登録に向け、資産の保護を進めるため、札所寺院、遍路道の文化財調査を行うとともに、県内関係団体との意見交換や講演会の開催等、機運の醸成を図った。（11,655） |
| | 「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進事業 | 「鳴門の渦潮」の世界遺産登録を推進するため、兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会において、学術的な調査や調査結果の普及啓発活動を実施した。（3,700） |
| | ユネスコ「世界の記憶」チャレンジプロジェクト | 「板東俘虜収容所関係資料」のユネスコ「世界の記憶」登録を目指すため、鳴門市、独ニードーザクセン州、リユーネブルク市と共同申請の準備を進めるとともに、機運の醸成を図った。（373） |
| 「文化の森総合公園」の新展開 | グランドオープン！！博物館“轟進（バクシン）”事業 | 「徳島まるづかみ展—コミュニケーションで展示を楽しもう—」の開催により「新生・博物館」のグランドオープンに向けての期待感の醸成を図るとともに、情報発信ツールの製作やウェブサイトのリニューアルなどを推進し、メディアミックスによる集客力、注目度、露出度の向上に努めた。（9,969） |
| | 県立博物館新常設展構築事業 | 文化の森総合公園開園30周年を契機に、博物館常設展の展示構成を全面的に見直し、高精細映像やVR、ハンズオン等の手法を新たに取り入れた「新未来型展示」へ再構築するため、展示製作を行った。（560,120） |
| | アール・ブリュット作品購入プロジェクト | コロナに負けない「徳島の芸術文化」を県民とともに盛り上げるための取組みとして、「多様性と調和」を基本コンセプトとする「東京オリンピック・パラリンピック大会」の開催に合わせ、アール・ブリュット作品をクラウドファンディングを活用して購入した。これにより、近代美術館の新たな魅力を県内外に発信するとともに、ダイバーシティに対する理解促進を図った。（2,200） |
| | 日本最古級恐竜化石含有層調査・発信プロジェクト | 本県の古環境、古生物の実態解明と、それによる地域活性化を促進するため、日本最古級恐竜化石含有層の発掘調査と周辺環境調査及び魅力発信事業を実施した。（33,190） |

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|------------------------|-----------------------------|--|
| 「文化の森総合公園」の新展開 (続き) | 文化の森デジタルアーカイブ 構築事業 | 文化の森各館所蔵の貴重資料への閲覧機会を増大させ、来館者の増加に結びつけるため、資料のデジタル化を推進し、手軽に閲覧利用できる環境を提供した。 (12, 952) |
| | ユニバーサルミュージアム展 開事業 | より多くの人に美術を楽しむ機会を広げるため、「ユニバーサル美術館展」の開催による情報提供手段の開発・実証や、美術館ロビーの機能強化、コンテンツの情報発信を実施した。 (4, 400) |
| | 県立図書館「知の拠点」事業 | 「一歩先の未来を先取る図書館」を目指し、電子書籍閲覧サービスの充実を図るとともに、子どもの本等の資料の充実や読書振興、市町村立図書館・学校図書館のサポートを図り、県民の読書、仕事、知的探究を応援する「知の拠点」として、機能強化を図った。 (43, 500) |
| | 文化の森各館企画展等開催費 | 本県文化を先導する拠点としての役割を果たし、文化活動の活性化を図るため、文化の森各館において企画展等を開催した。 (34, 939) |
| 生涯スポーツの振興 | 「自転車でひろがる人・まち」 づくりプロジェクト | 県民の運動実施率向上や健康増進、観光・文化の振興等を図るため、サイクリングやポタリングの開催、フォトコンテストの実施により「自転車王国とくしま」ブランドを強力に発信した。 (3, 403) |
| | バスでらくらく！サイクリン グプロジェクト | 本県におけるサイクルツーリズムを推進するため、国内外から幅広い層のサイクリストを本県に迎え、サイクリストが走力にかかわらず、サイクリングを楽しみながら県内の観光地を楽に巡ることができるよう、大型観光バスの開発等を行った。 (3, 000) |
| | スポーツ・イン・ライフ創造 事業 | スポーツを通じて県民の元気を創造する「スポーツ王国とくしま」づくりを推進するため、だれもが日常的にそれぞれのライフスタイルに応じたスポーツを楽しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブの質的充実を図った。 (21, 771) |
| | SPORT RESTART 促進事業 | 女性のスポーツ実施率は総じて男性より低くなっており、特に義務教育終了後、運動機会が消失しているともいわれることから、スポーツ実施率の特に低い20～40代の女性のスポーツ参画を重点的に促進する取組みを実施した。 また、総合型地域スポーツクラブを活用した安全安心なスポーツ環境を整備し、各クラブにおける新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減に歯止めをかけるとともに、感染拡大によりスポーツ活動を休止している層のスポーツ活動の再開を促す取組みを実施した。 (5, 558) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|-----------------|------------------------------|---|
| 競技力の飛躍的な向上 | 徳島育ち競技力向上プロジェクト | 本県出身選手の全国大会等での活躍に資するため、優れた素質を有するジュニア競技者を発掘し、トップレベルの競技者へと育てる一貫指導システムを構築するとともに、トップ指導者の養成に取り組む団体を支援した。 (13,406) |
| | 国民体育大会派遣費 | 令和3年度の国民体育大会冬季大会（栃木県）や四国ブロック大会に選手役員を派遣するため、旅費・宿泊費等必要な経費を補助した。 ※国民体育大会（三重大会）は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止 (5,013) |
| | あわスポーツ医科学強化プロジェクト | 本県の競技力向上を図るため、スポーツ医科学情報を活用し、トップレベルの競技者・指導者を育成・サポートする環境を構築した。 (332) |
| | オリンピック選手輩出・国体飛躍プロジェクト | 東京2020オリンピック・パラリンピック等の国際スポーツ大会に対する機運を一過性のものとせず、確実に競技力向上をレガシーとして継承するため、オリンピック選手の輩出及び国体の順位向上を図った。 (140,648) |
| 国際スポーツ大会レガシーの創出 | 新たな時代の東京2020大会事前キャンプ受入事業 | 東京2020大会を通じたレガシーを創出するため、万全の態勢で、ホストタウン相手国代表チームの事前キャンプ受入れ及び県民との交流を行った。 (139,066) |
| | ワールドマスターズゲームズ2021関西開催準備加速化事業 | ワールドマスターズゲームズ2021関西をスポーツツーリズムを牽引する大会とするとともに、地域活性化の創出に繋げるため、来県者へのおもてなしの充実や競技運営態勢の整備等、開催に向けた準備を行った。 (24,266) |
| スポーツツーリズムの推進 | 新たなスポーツ大会・合宿スタイル実践事業 | スポーツ大会・合宿誘致による地域活性化を図るため、徳島県スポーツコミッションを核に、新たな大会・合宿スタイルの実践により、スポーツツーリズムを推進した。 (2,498) |

Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

| 区 分 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 | 予 算 現 額 と 収 入 済 額 の 比 較 |
|---------------|---------------|---------------|---------------|-----------|------------|-------------------------------|
| 未 来 創 生 政 策 課 | 2,248,000 | 1,909,725 | 1,909,725 | 0 | 0 | △338,275 |
| ダイバーシティ推進課 | 168,565,000 | 159,875,972 | 159,875,972 | 0 | 0 | △8,689,028 |
| 男女参画・人権課 | 295,906,000 | 291,702,202 | 291,702,202 | 0 | 0 | △4,203,798 |
| 次世代育成・青少年課 | 2,674,368,000 | 2,071,630,134 | 2,039,195,787 | 2,463,310 | 29,971,037 | △635,172,213 |
| 文化・未来創造課 | 132,583,000 | 94,200,411 | 94,200,411 | 0 | 0 | △38,382,589 |
| 文化資源活用課 | 342,415,000 | 318,563,404 | 318,563,404 | 0 | 0 | △23,851,596 |
| 文化の森振興センター | 267,328,000 | 266,956,130 | 266,956,130 | 0 | 0 | △371,870 |
| スポーツ振興課 | 942,220,000 | 633,736,288 | 633,736,288 | 0 | 0 | △308,483,712 |
| 計 | 4,825,633,000 | 3,838,574,266 | 3,806,139,919 | 2,463,310 | 29,971,037 | △1,019,493,081 |

(2) 歳出決算額

(単位：円)

| 区 分 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 翌年度繰越額 | 不 用 額 | 予 算 現 額 と 支 出 済 額 の 比 較 |
|---------------|----------------|----------------|---------------|---------------|-------------------------------|
| 未 来 創 生 政 策 課 | 2,573,535,000 | 2,535,224,374 | 0 | 38,310,626 | 38,310,626 |
| ダイバーシティ推進課 | 349,905,000 | 321,137,475 | 0 | 28,767,525 | 28,767,525 |
| 男女参画・人権課 | 607,374,000 | 567,018,679 | 0 | 40,355,321 | 40,355,321 |
| 次世代育成・青少年課 | 12,255,973,000 | 9,551,733,321 | 977,341,000 | 1,726,898,679 | 2,704,239,679 |
| 文化・未来創造課 | 953,518,100 | 714,498,334 | 136,877,000 | 102,142,766 | 239,019,766 |
| 文化資源活用課 | 432,527,000 | 391,080,882 | 0 | 41,446,118 | 41,446,118 |
| 文化の森振興センター | 1,450,731,000 | 1,375,048,450 | 10,560,000 | 65,122,550 | 75,682,550 |
| スポーツ振興課 | 2,208,494,000 | 1,628,420,964 | 351,000,000 | 229,073,036 | 580,073,036 |
| 計 | 20,832,057,100 | 17,084,162,479 | 1,475,778,000 | 2,272,116,621 | 3,747,894,621 |

2 特別会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

| 区 分 | 会 計 名 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 | 予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較 |
|----------------|---------------------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-------------|---------------------------------|
| 次世代育成・ 青少年課 | 母子父子寡婦 福祉資金貸付金 特別会計 | 228,295,000 | 418,361,189 | 249,169,155 | 3,197,002 | 165,995,032 | 20,874,155 |

(2) 歳出決算額

(単位：円)

| 区 分 | 会 計 名 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 翌年度繰越額 | 不 用 額 | 予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較 |
|----------------|---------------------------|-------------|-------------|--------|------------|---------------------------------|
| 次世代育成・ 青少年課 | 母子父子寡婦 福祉資金貸付金 特別会計 | 228,295,000 | 141,474,259 | 0 | 86,820,741 | 86,820,741 |